

ホームページのご紹介

羽田空港国内線旅客ターミナル  
BIG BIRD



<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

羽田空港ターミナル ポータルサイト



<http://www.haneda-airport.jp/>

羽田空港国際線旅客ターミナル



<http://www.haneda-airport.jp/inter/>

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 

期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞

- 株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

株主・投資家の皆さまへ  
**株主通信**

2010年4月1日▶  
2011年3月31日  
第67期

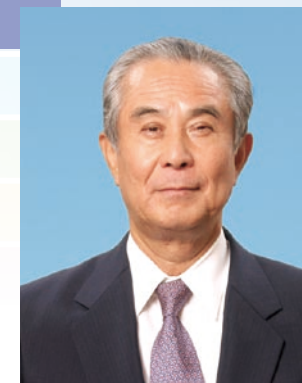


空もひとつ  
日本もひとつ  
心もひとつに

# 空港ターミナル運営会社として、 航空業界の発展に寄与していくとともに、 企業価値の向上を目指して着実に前進してまいります。

代表取締役社長

鷹城 勲



当社第67期の決算（2010年4月1日から2011年3月31日まで）のご報告をするにあたり、このたびの東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が改善し、個人消費も持ち直すなど、景気は回復に転じていたものの、本年3月11日の東日本大震災および、これに伴う原子力発電所事故が発生し、国内経済に与える影響が懸念されております。

航空業界におきましては、国内線航空旅客数は、第3四半期累計では、2009年度の新型インフルエンザ等の影響による落ち込みからの反動もあり、対前年同期比で増加しておりましたが、震災の影響等を受け、通期では対前期比で減少となりました。国際線航空旅客数は、上期における中国人・韓国を中心とした訪日外国人旅客数の増加や、昨年10月21日の羽

田空港D滑走路供用開始に伴う発着枠の拡大により増加基調で推移しましたが、震災後においては外国航空会社の減便や日本への渡航自粛等により大きな影響を受けております。なお、当社グループは、羽田空港の国内線旅客ターミナルビル等での人的被害や重大な物的被害はありませんでした。成田空港では、一部店舗の損壊等が発生しましたが、すぐに復旧に努め、販売を開始いたしました。

このような状況の下、当社グループは、引き続き旅客ターミナルビルにおける安全対策強化に全力を傾注するとともに、顧客第一主義の徹底を図り、全社を挙げて一層のサービス向上に努めてまいりました。また、旅客ターミナルビル運営の効率化に取り組み、業務の活性化と経営の合理化を図り、社業発展と経営基盤の強化に努めました。

当社グループは、中期経営計画（計画期間：2010年度から

2012年度までの3年間）に基づき企業価値の向上に取り組み、昨年、P4立体駐車場（本館）や国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）の供用を開始し、新国際線旅客ターミナルビルでの受託業務や卸売等を展開したほか、商業施設の各種活性化策等も積極的に実施いたしました。このほか、新たな空港商業空間の開発に努めるとともに、空港内外における新たな事業展開を図ることにより、羽田空港旅客ターミナルビルのさらなる価値の向上と収益基盤の拡大を目指してまいりました。その一方で、羽田空港国内線旅客ターミナルビルの航空会社用事務室等の貸室返却や、震災に伴う国内線・国際線航空旅客数の落ち込み等が収益に影響を及ぼしました。

以上の結果、当期の営業収益は増収となりましたが、第2旅客ターミナルビル増築等に伴う一過性の費用の発生、国有財産一時使用料の値上げ等により、利益面では前期を下回る結果と

なり、誠に遺憾ではございますが、通期の配当金を1株当たり7円（前期に比べ6円減配）にさせていただきます。株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループが営業の基幹とする羽田空港の中長期的なポテンシャルは大きく、さらなる発着枠の増加や航空自由化など、航空業界を取り巻く環境変化を大きなビジネスチャンスと捉え、羽田空港における新たな事業展開に加え、羽田空港外への事業展開にも積極的に挑戦することで、空港ターミナル運営会社として、航空業界の発展に寄与していくとともに、企業価値の向上を目指して着実に前進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月

# 2010年10月、羽田が生まれ変わり、新たにスタートしました。

## ■ ■ ■ ■ ■ 第2旅客ターミナルビル増築部(本館南側)供用開始 ■ ■ ■ ■ ■

第2旅客ターミナルビル増築部(本館南側)の工事が完了し、昨年10月13日にオープンしました。

これにより、第2旅客ターミナルビルの出発・到着ロビーが増築前の約2倍の広さになったほか、新しい飲食・物販店舗等もオープンし、ご利用になるお客さまの利便性・快適性が格段に向上しました。



第2旅客ターミナルビル外観



出発ロビー

### 第2旅客ターミナルビルの店舗・サービス施設

#### ■ レディースセレクトショップ新規オープン

本年6月1日、洗練された女性に向けたセレクトショップとして、マーケットプレイス3階に、銀座を代表する専門店「和光」、クリスタルジュエリーの「スワロフスキー」、羽田空港オリジナルのスーベニール(お土産)セレクトショップ「ポートベニール」の3ブランドを、新たにオープンしました。

これらの店舗では、大切な方へのプレゼントや自分へのご褒美、ご旅行の記念など、旅を演出するギフトアイテムを数多くご用意しております。



セレクトショップ外観

#### ■ エアポートラウンジ

モダンからコンテンポラリーまで世界のトップデザイナーを起用し、さまざまな名作を生み出し続けるvitra社(ドイツ)の家具で構成された「エアポートラウンジ」が、本年4月21日に2階ゲートラウンジ内にオープンしました。シンプルかつ斬新なフォルムに快適な座り心地を求めたソファやラウンジチェアなど、空港の美しい景色を楽しみながら、快適なお時間をお過ごしいただけます。



エアポートラウンジ

#### ■ ディスカバリーミュージアム

第3回にあたる企画展は、千利休ゆかりの美術品を本年7月18日まで展示しております。次回の第4回企画展は、7月27日より約2カ月間、「横山大観展」を開催予定。「広大な智慧で観る」という名を持つ画家、横山大観が描いた作品を中心に、大観のよきライバルでもあった下村観山、大観とともに、日本の近代美術を代表する画家、梅原龍三郎の作品が花を添えます。

また、30年ぶりに公開される大観の大作にもご期待ください。



横山大観筆  
《朝陽映島(ちょうようしまにえいず)》

## ■ ■ ■ ■ ■ 新国際線旅客ターミナルビル供用開始 ■ ■ ■ ■ ■

当社が中核となり航空会社等と出資設立した「東京国際空港ターミナル株式会社」により、地上5階、延床面積約159,300㎡の新国際線旅客ターミナルビルが完成し、昨年10月21日より供用開始しました。

当社グループは、同ターミナルビルの施設維持管理、商業店舗運営・企画、旅客サービス等の基幹業務の運営を一括受託し、併せて物販・飲食店、旅行業等の事業展開を行っています。

また、2013年度末には国際線の昼間の年間発着枠がさらに3万回増え、昼夜合わせて年間9万回が充てられることとなるため、さらなる旅客増が期待できます。



出発ロビー

### 新国際線旅客ターミナルビル店舗等

出国手続後の出発コンコースでは、DUTY FREE SHOPはもちろん、日本の空港では初出店となるブランドショップ、東京ならではのお土産店、すばらしい眺望と美味しいお酒が楽しめるバーや、豊富なメニューを取り揃えた24時間営業のダイニングなど、魅力的な各種専門店31店舗が出発までのひとときをより豊かなものにします。



TIAT DUTY FREE SHOP外観

## ■ ■ ■ ■ ■ P4立体駐車場(本館)供用開始 ■ ■ ■ ■ ■

昨年8月4日、第2旅客ターミナルビル増築部(本館南側)の前面にP4立体駐車場(本館)を供用開始しました。P4立体駐車場は、第2旅客ターミナルビル3階と連絡橋で結ばれ、約1,200台から約2,400台に収容可能台数が増え、ますます便利になりました。また、昨年10月から個室車庫の設置、事前予約サービスの導入や電気自動車用の充電スタンド、ペットホテルの設置など駐車場サービスの向上を図りました。

さらに、駐車料金を値下げし、羽田空港を利用されるお客さまへのサービス向上を図りました。



P4立体駐車場外観

# さらなるサービスレベルの向上を目指します。

## ■ ■ ■ ■ ■ 第1旅客ターミナルビル リニューアル ■ ■ ■ ■ ■

第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）の供用開始に伴い、ターミナル間におけるサービスレベル均質化の観点から、第1旅客ターミナルビルリニューアル工事を本年2月3日より本格着手しました。総投資額は70億円で本年9月末までに完成予定です。

第1旅客ターミナルビルは1993年の供用開始以来、国内航空ネットワークの拠点ターミナルとして、長きにわたり多くのお客さまにご利用いただいております。今回のリニューアル工事により、第1旅客ターミナルビルの経年劣化対策と、環境の改善が図られます。

今後も、国際ハブ空港としての羽田への期待が高まる中、当社は空港ターミナル運営会社として国内線と国際線の乗り継ぎ機能の向上を図り、高品質でおもてなしの心に溢れた最先端のターミナルサービスの実現に向けて邁進してまいります。



出発ロビー



展望デッキ  
※ 5月末現在施工状況

### 工事概要 (工期:2011年2月3日~9月末日)

#### エリアコンセプト

- 出発ロビー** **地上をイメージしたアースカラー中心の温もり溢れる空間演出**
  - トップライト増設による自然光の採り入れ
  - 照明計画の見直しおよび機器の更新によるエコ対策の推進
- 出発ゲートラウンジ** **空をイメージしたクールで機能的な空間演出**
  - 旅客誘導サイン等の見直し、旅客用椅子等の更新
  - 照明計画の見直しおよび機器の更新によるエコ対策の推進
- 展望デッキ** **景色を楽しむことで、旅への憧れに夢を膨らませる空間演出**
  - フェンスのワイヤー化による眺望の改善
  - 床面をウッドデッキ化することによる開放感の向上

### 第1旅客ターミナルビル リニューアルエリア (完成イメージ)



#### 展望デッキ

主な工事内容 フェンス改修 / ウッドデッキ設置 / 店舗リニューアル



#### 展望デッキ

主な工事内容 フェンス改修 / ウッドデッキ設置



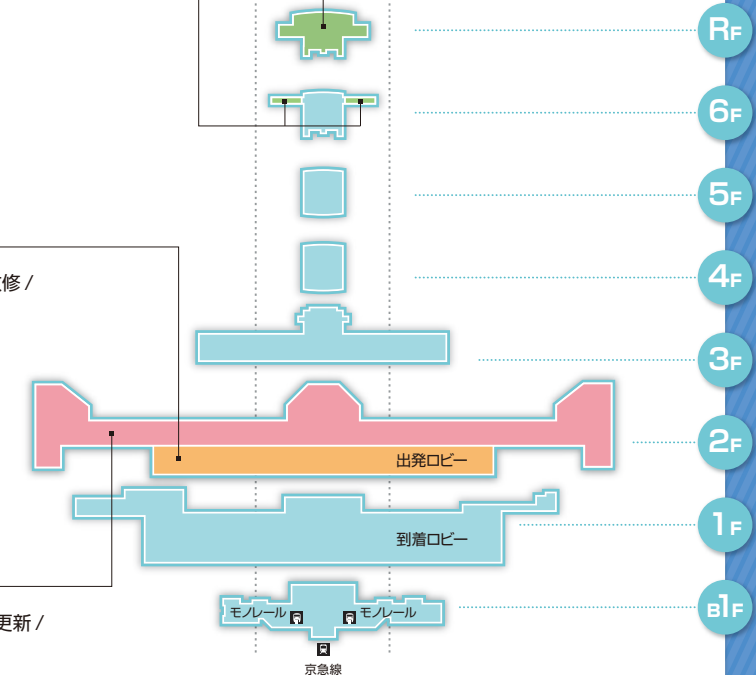
#### 出発ロビー

主な工事内容 床テラゾ (人造大理石) 張替え / 壁改修 / 天井改修 / トップライト増設



#### 出発ゲートラウンジ

主な工事内容 床タイルカーペット張替え / 照明器具更新 / 天井改修 / 店舗リニューアル



# 羽田の新たな環境変化に的確に対応いたします。

当社グループは、羽田空港における新たな事業展開に加えて、羽田空港外への事業展開にもチャレンジすることで、新たな環境変化に的確に対応してまいります。

当面の事業環境は厳しいものの、羽田空港の中長期的なポテンシャルは大きく、さらなる羽田発着枠の増加や航空自由化・オープンスカイ等の環境変化を大きなビジネスチャンスとして捉えていくとの認識は不変

## 羽田空港における新たな事業展開

- | 国内線旅客ターミナルビル                                                                                                                   | 国際線旅客ターミナルビル                                                                                                             | 羽田跡地周辺                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>国内空港初のミュージアムを開設(第2旅客ターミナルビル)</li> <li>新規業態誘致(商業店舗等)</li> <li>ワンセグサービスの実証実験開始</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>グランドハンドリング会社を設立し新規参入</li> <li>東京国際空港ターミナル株式会社(TIAT)の発展へのバックアップ体制の継続と強化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>羽田船着場の整備・運営(観光および防災目的)</li> <li>商業施設等の展開が予定されている跡地開発にも積極的に参画</li> </ul> |

## 羽田空港外への事業展開のチャレンジ

- | 国内                                                                                          | 海外                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>お台場地区に物販店舗を出店</li> <li>その他の地域でも商業店舗展開を検討中</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>成都双流国際空港(中国四川省)に物販店舗を出店</li> <li>その他の業務協力先(北京空港・大連空港等)とも商業店舗展開等につき交渉中</li> </ul> |

空港ターミナル運営会社として、航空業界の発展に寄与していくとともに、企業価値の向上を目指して着実に前進していく。

### 羽田発着枠の見通し

2010年度 ..... 37.1万回/年(うち国際線配分6万回)  
 2013年度以降 ..... 44.7万回/年(うち国際線配分9万回)

## ■ ■ ■ ■ ■ 当面の対処すべき課題と取組み状況 ■ ■ ■ ■ ■

### 当面の対処すべき課題

- 震災発生後の売上減に伴う緊急収支改善策
- 事業戦略・組織戦略等の推進(中期経営計画で発表)
- 航空会社事務室返却に伴う空室対策
- 地代値上げに伴う対応策

### 取組み状況

- コスト削減策の実行
  - ・設備投資の見直し
  - ・旅客需要に応じた店舗運営方法等の変更
- 第1旅客ターミナルビル リニューアル工事、人事・組織の改革等を着実に推進中
- 空室活用検討チームを立ち上げて誘致活動を展開中
- 今期もさらなる値上げがあった場合には、管理費等の値上げを検討

## ■ ■ ■ ■ ■ 連結業績予想 ■ ■ ■ ■ ■

当社グループは、中期経営計画に基づき、新国際線旅客ターミナルビルでの受託業務や卸売、国内線旅客ターミナルビルにおける事業展開等を着実に推進するとともに、人事制度の抜本的見直し、戦略的かつ適切な投資の実行と管理、効率的なグループ経営体制の構築に取り組んでまいります。

しかしながら、東日本大震災やそれに伴う原子力発電所事故による個人消費の減少、さらには外国人の日本への渡航回避等による国内線・国際線旅客数の大幅な減少の影響が大きいいため、営業収益は前期を下回ると予想されます。

また、利益面については、第1旅客ターミナルビルのリニューアル工事による修繕費・減価償却費等の増加、さらには持分法投資損失の増加等により、損失となると予想しております。

(単位:億円)	2010年度	2011年度
	実績	予想*
営業収益	1,347	1,232
施設管理運営業	420	406
物品販売業	781	687
飲食業	145	139
営業損益	41	△ 25
経常損益	31	△ 39
当期純損益	9	△ 31

\* 本年5月に発表した業績予想

東日本大震災に対する当社の取り組み

# 空もひとつ 日本もひとつ 心もひとつに

大震災により被災された皆さまのために、少しでもお役に立ちたいという想いから、当社グループはこのスローガンを掲げました。

当社グループでは、このたびの大震災により被災された皆さまのために、少しでもお役に立ちたいという想いと、微力ながら私たちにできることは何でもしたいという想いから、「空もひとつ 日本もひとつ 心もひとつに」というスローガンを掲げ、被災された皆さまのために以下の活動を実施しました。今後もチャリティーイベントは継続的に実施してまいります。

■ 震災支援活動

本年3月14日から第1・第2旅客ターミナルビルの出発ロビーや地下1階の案内所7カ所で義援金を募るとともに、イベントの実施や当社および当社グループの売店、レストランにおいてチャリティー販売を実施しました。これらについては今後も、継続して実施してまいります。

■ 当社グループによる義援金寄付

当社グループでは、被災された皆さまの迅速な救援並びに東北地方の航空関係業界の早期復興に寄与するため、左記の義援金に加え3,000万円を日本赤十字社を通じて寄付しました。

■ 羽田空港国内線旅客ターミナルビルにおける節電対策

第1・第2旅客ターミナルビルにおいて、出発・到着ロビー、コンコース、搭乗待合室、職員通路等の照明の一部消灯、空調機および搬送設備等の省エネ運転、トイレ内の温水便座ヒーターの停止などの節電対策を実施しております。

■ 羽田空港から被災地への応援メッセージボード

本年3月27日および4月9日に、第1旅客ターミナルビル内で、当社グループ職員、エアラインスタッフによるチャリティーイベントを実施し、羽田空港をご利用されたお客さまに対して、今回の東日本大震災で被災された皆さまに向けた応援メッセージの寄せ書きをお願いし、仙台、いわて、花巻、福島、山形などの空港で展示していただきました。



被災地への応援メッセージボード

■ 東日本大震災復興支援イベント『笑顔だ!元気だ!GO GO はねだ』を開催

本年5月4、5日、当社は東日本大震災復興支援イベントとして、『笑顔だ!元気だ!GO GO はねだ』を開催しました。当イベントに、被災された地域子どもたちも招待しましたが、震災による精神的な不安などを抱えた子どもたちが、今回のイベントに参加したことで、そのような不安からも解放されて思い切り楽しむことができ、屈託のない笑顔に戻ってきたとのご意見を多数いただくことができました。

今後も同様のイベントを開催し、できるだけたくさんの方々に笑顔と元気をお届けできるよう、羽田から「日本の元気」を発信してまいります。

成都双流国際空港(中国四川省)に物販店をオープン

当社は事業戦略の一環として、昨年8月に四川省機場集団有限公司(成都双流国際空港等6空港を管理運営)と業務提携し、本年1月に海外では初となる現地法人 羽双(成都)商貿有限公司を設立。成都双流国際空港内において当社物販店(日本ブランドの総合ギフトショップ)の営業を開始。

当社といたしましては、このような日中空港会社間の協力提携推進が日中間の交流促進にも良い影響をもたらすものと期待しております。

■ 羽双(成都)商貿有限公司の概要	
資本金	85百万円
株主	当社(100%)
設立日	2011年1月30日
代表者名	董事長 土井 勝二 (当社代表取締役副社長)
本社所在地	四川省 成都 (成都双流国際空港内)
事業内容	成都双流国際空港内における物販事業および卸売事業



店舗イメージ

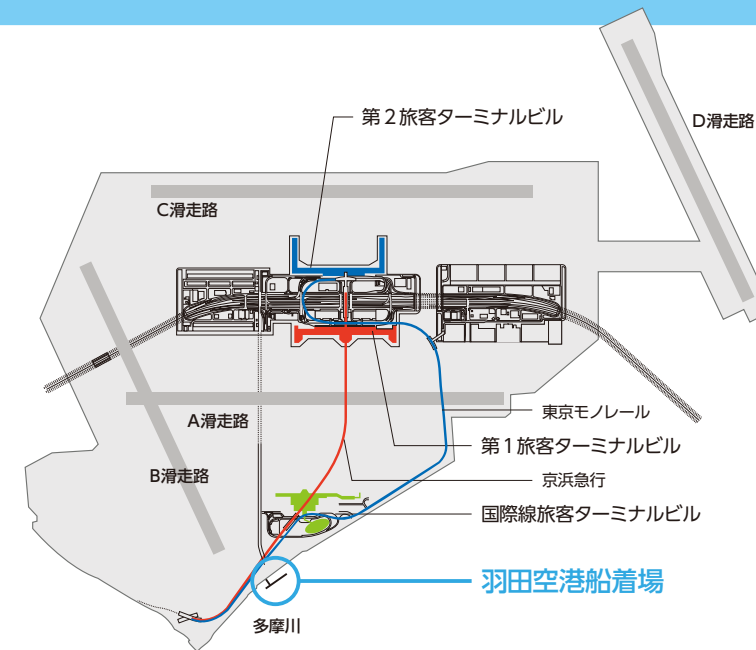
■ 「羽田空港船着場」整備工事

当社は、東京湾および多摩川に面した羽田空港の利点を生かし、観光振興面および防災対策面での活用を考慮した水上アクセス機能の整備を検討してまいりましたが、本年4月27日に、国土交通省より河川法に基づく許可を受け、羽田空港船着場の整備工事に着手しました。

7月には船の発着が可能となり、秋頃には陸側に待合所も設置する予定です。



羽田空港船着場完成イメージ



羽田空港船着場

## ■ 羽田エリアワンセグサービス実証実験開始

当社は昨年7月30日、総務省より「ホワイトスペース\*1特区」の先行モデルに選ばれました。これを受けて本年4月22日より第2旅客ターミナルビルにおいて、エリアワンセグ放送\*2実証実験を開始しました。

この実証実験では、ホワイトスペースを活用したエリア放送実験を行っておりますが、放送サービスによりビジネスモデルのト

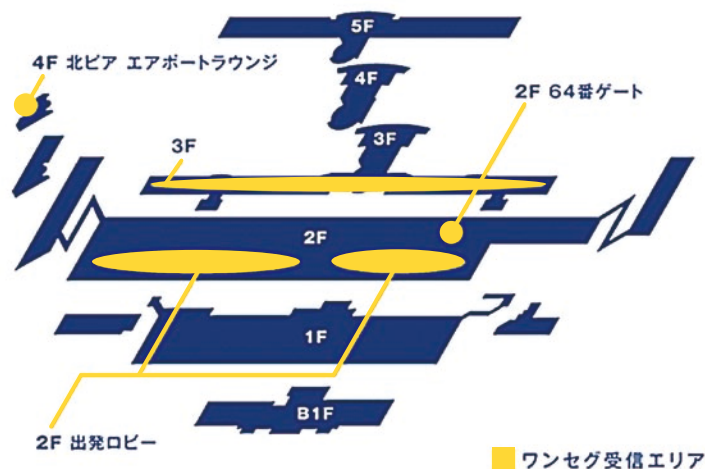
\*1：ホワイトスペース……放送用など、特定の目的のために割り当てられているものの、時間的、地理的、技術的な条件によってほかの目的に利用可能な周波数  
\*2：エリアワンセグ放送…狭いエリア限定で独自の映像やデータを配信するサービス

リアルをさまざまな形で実施し、新規サービスの開拓、空港利用者の利便性向上や羽田空港の活性化に寄与することを目指していきます。

また、総務省では2015年までにホワイトスペース特区の全国展開も視野に入れておりますので、羽田空港での放送サービスのトライアルを全国の空港に展開する可能性も検討してまいります。

## 羽田空港第2旅客ターミナルビル ワンセグ放送サービスエリア

## 羽田空港 第2旅客ターミナル

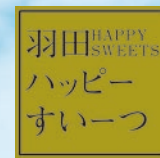


羽田エリア  
ワンセグサービス  
Haneda airport  
Ubiquitous Broadcasting

詳細な情報は、「羽田エリアワンセグサービス・ホームページ」をご覧ください。

<http://www.airport-broadcasting.jp>

## 「羽田ハッピーすいーつ」第1弾登場



当社は、本年4月27日から羽田空港発のプライベートブランドスイーツ「羽田ハッピーすいーつ」を立ち上げました。第1弾として、小さくてかわいい、ふんわりした食感が特徴の「ハッピークーヘン」を第1・第2旅客ターミナルビルの13店舗で販売しております。今後も「羽田からハッピーの輪を広げよう」のコンセプトのもと、多様化するお客さまのニーズに応えられるように、販売スタッフを中心としたプロジェクト・チームが商品開発に努め、継続的に新商品をお届けしていく予定です。



ハッピークーヘン

## 「羽田スタースイーツ」第6弾スタート

2008年12月にスタートした「羽田スタースイーツ」は、多くの皆さまからご好評をいただき、本年6月1日に第6弾をスタートさせることができました。「羽田スタースイーツ」は「スターになるスイーツ」を全国、世界に広めていこうと

いうコンセプトのもと、厳選されたブランドが次々登場するスイーツのセレクトショップです。今回の第6弾は、「素材を楽しむ」をテーマに4ブランドが羽田空港に初登場し、多くの皆さまにご満足いただいております。

## 日本橋錦豊 本店



代表商品：江戸小判ラスク

国内産米100%を使用したお煎餅、ラスクの食感が味わえるお煎餅など、「素材」「製法」「品質」にこだわった商品を展開。昔懐かしい味と現代の流行を合わせた斬新なスイーツに注目。

## ZENKASHOIN



代表商品：黄金色の伝説

「黒船」で有名な長崎堂が、羽田空港に初出店。丹波黒豆で育った京都の鶏の卵を使用し、職人が一つ一つ丹念に焼き上げたとろとした食感の「黄金色の伝説」は京都室町の一押し商品。

## 東京ミルクチーズ工場



代表商品：バームクーヘン

岡山県の麓山ジャージー牛乳を使用した、コクのあるやさしいミルク味のお菓子を展開。一つ一つ素材にこだわった甘めのスイーツからお酒にも合うスイーツまで老若男女が楽しめる羽田空港発信の新ブランド。

原宿スイーツ/  
原宿はちみつプロジェクト

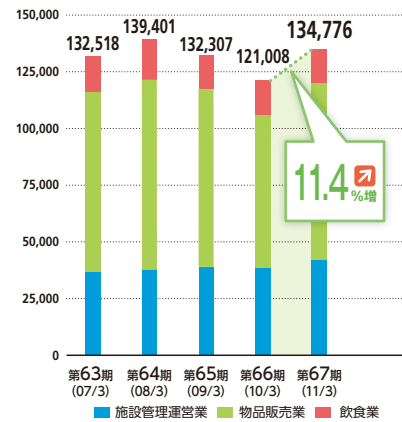
代表商品：原宿はちみつロール

人気の「原宿ロール」に、コロナパン本店の屋上で飼育しているミツバチから集めた「原宿はちみつ」を染み込ませた贅沢な逸品。そのほか、はちみつを使用したプリンなど希少価値の高いスイーツをお楽しみください。

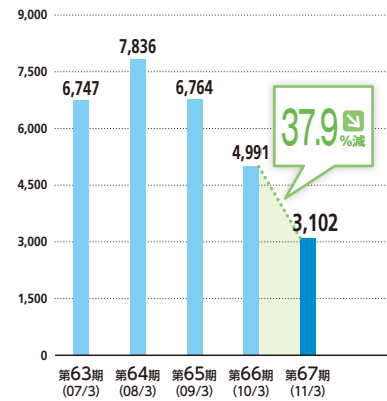
決算のポイント

新国際線旅客ターミナルビルに係る業務受託や卸売等により営業収益は増加したものの、国内線第2旅客ターミナルビル増築に伴う一過性の費用の発生、国有財産一時使用料の値上げ、旧国際線旅客ターミナルビル解体撤去費用の資産除去債務に関する会計基準の適用等により減益となりました。

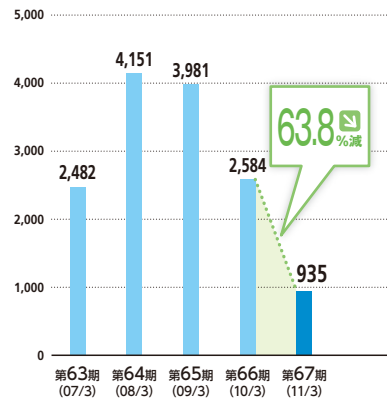
営業収益 (百万円)



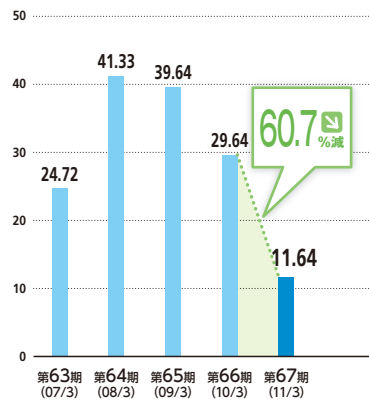
経常利益 (百万円)



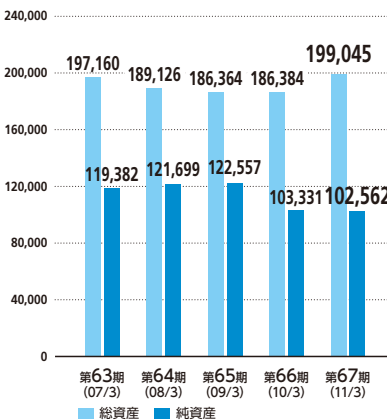
当期純利益 (百万円)



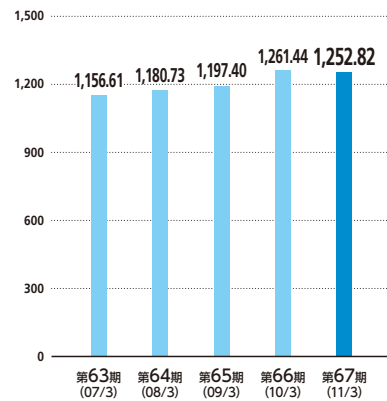
1株当たり当期純利益 (円)



総資産／純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



(単位：百万円)

連結貸借対照表 (要旨)	前期 2010年3月31日現在	当期 2011年3月31日現在
流動資産	28,602	40,410
固定資産	157,781	158,634
有形固定資産	133,927	133,909
無形固定資産	1,045	1,804
投資その他の資産	22,809	22,921
<b>① 資産合計</b>	<b>186,384</b>	<b>199,045</b>

資産の部

負債の部

流動負債	26,486	28,354
固定負債	56,567	68,128
<b>② 負債合計</b>	<b>83,053</b>	<b>96,483</b>

純資産の部

株主資本	101,596	101,727
その他の包括利益累計額	△193	△1,017
少数株主持分	1,927	1,852
純資産合計	103,331	102,562
負債及び純資産合計	186,384	199,045

(単位：百万円)

連結損益計算書 (要旨)	前期 自2009年4月1日 至2010年3月31日	当期 自2010年4月1日 至2011年3月31日
<b>③ 営業収益</b>	<b>121,008</b>	<b>134,776</b>
営業総利益	63,078	67,506
販売費及び一般管理費	57,971	63,317
<b>④ 営業利益</b>	<b>5,107</b>	<b>4,189</b>
営業外収益	1,380	1,209
営業外費用	1,495	2,296
経常利益	4,991	3,102
特別利益	14	267
特別損失	542	899
税金等調整前当期純利益	4,464	2,469
法人税、住民税及び事業税	2,506	1,089
法人税等調整額	△591	511
少数株主損益調整前当期純利益	—	869
少数株主損失 (△)	△35	△66
当期純利益	2,584	935

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー 計算書 (要旨)	前期 自2009年4月1日 至2010年3月31日	当期 自2010年4月1日 至2011年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,187	12,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,741	△14,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	511	6,929
現金及び現金同等物の増減額	960	5,144
現金及び現金同等物の期首残高	15,693	16,653
現金及び現金同等物の期末残高	16,653	21,797

詳細な財務情報は、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください ▶ <http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>

- ① 資産合計**／現金及び預金等の増加により、前期末比126億円増加し、1,990億円となりました。
- ② 負債合計**／長期借入金が増加したこと等により、前期末比134億円増加し、964億円となりました。

- ③ 営業収益**／新国際線旅客ターミナルビルに係る業務受託や卸売等により、前期比11.4%増の1,347億円となりました。
- ④ 営業利益**／国内線第2旅客ターミナルビル増築に伴う一過性の費用の発生、国有財産一時使用料の値上げ等により、前期比18.0%減の41億円となりました。



## 事業別概況

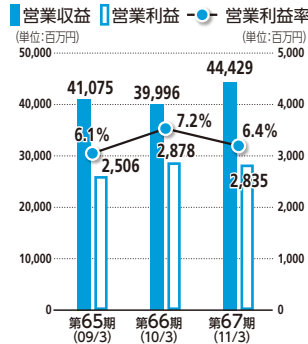
SEGMENT INFORMATION

### 施設管理運営業

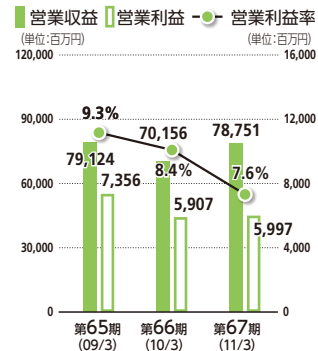
家賃収入につきましては、昨年12月より羽田空港国内線第1旅客ターミナルビルにおける航空会社用事務室等の貸室返却による減収の影響があるものの、国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）供用開始に伴い、貸室面積が増加したこと等により、昨年を上回りました。

施設利用料収入につきましては、国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）供用開始に伴い、航空会社からの国内線施設利用料収入が増加したものの、旧国際線旅客ターミナルビルの閉鎖により国際線施設利用料収入が減少したこと等が影響し、昨年を下回りました。

その他の収入は、新国際線旅客ターミナルビル供用開始に伴い、施設維持管理等の業務受託収入や請負工事収入が増加したこと等により、昨年を大きく上回りました。その結果、施設管理運営業の営業収益は444億2千9百万円（前期比11.1%増）、営業利益は、国有財産一時使用料の値上げや国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）供用開始に伴う不動産取得税等の初期費用の発生等により、28億3千5百万円（前期比1.5%減）となりました。



### 物品販売業



国内線売店につきましては、国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）供用開始に伴う新規直営店舗展開および新規ブランド商品の導入や季節感のある商品の積極的な催事販売等で販売促進の強化を図ったものの、東日本大震災に伴う航空旅客数の減少等が影響し、売上は昨年を下回りました。

国際線売店につきましては、新国際線旅客ターミナルビルの直営店舗出店等により、売上は昨年を上回りました。

その他の売上につきましては、新国際線旅客ターミナルビル店舗への卸売の開始等により、売上は昨年を大きく上回りました。

その結果、物品販売業の営業収益は787億5千1百万円（前期比12.3%増）、営業利益は59億9千7百万円（前期比1.5%増）となりました。

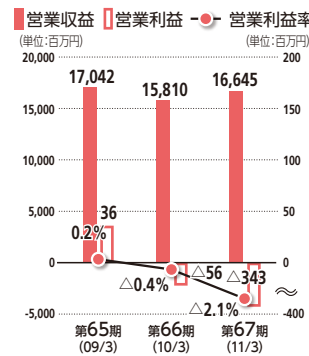
### 飲食業

飲食店舗につきましては、国内線第2旅客ターミナルビル増築部（本館南側）および新国際線旅客ターミナルビル供用開始に伴う新規店舗展開等の効果により、売上は昨年を上回りました。

機内食につきましては、新規顧客航空会社を獲得するなど、積極的な営業活動に努めたことにより、売上は昨年を上回りました。

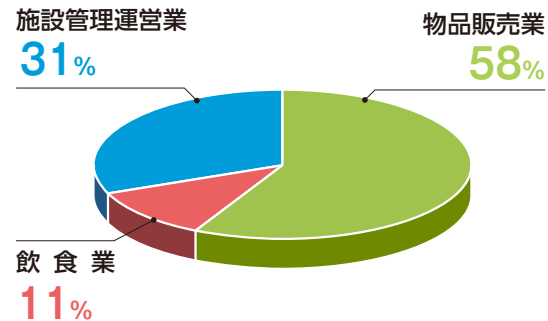
その他の売上につきましては、新国際線旅客ターミナルビル飲食店舗における運業務受託開始等により、売上は昨年を大きく上回りました。

その結果、飲食業の営業収益は166億4千5百万円（前期比5.3%増）、営業利益は、新規店舗展開に伴う人件費や業務委託費等の増加および羽田空港における機内食事業展開に係る初期費用の発生等により、3億4千3百万円の損失（前期は5千6百万円の損失）となりました。



本文内の事業別営業収益には、セグメント間の営業収益が含まれます。

### 第67期 営業収益比率



## 株主優待

SHAREHOLDER SPECIAL BENEFIT

## 株式情報

STOCK INFORMATION

(2011年3月31日現在)

### 株式の状況

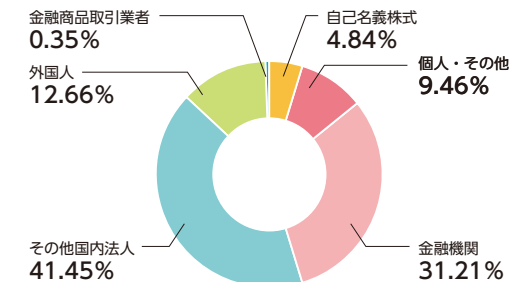
発行可能株式総数	288,000,000株
発行済株式の総数（うち自己株式 4,089,744株）	84,476,500株
株主数	6,181名

### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 <sup>*1</sup> (%)
株式会社日本航空インターナショナル <sup>*2</sup>	4,398	5.47
全日本空輸株式会社	4,398	5.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 （住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口）	3,484	4.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	4.23
三菱地所株式会社	3,111	3.87
株式会社みずほコーポレート銀行	3,000	3.73
大成建設株式会社	2,831	3.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,683	3.33
日本通運株式会社	2,337	2.90
東京海上日動火災保険株式会社	2,071	2.57

※1：持株比率は自己株式（4,089,744株）を控除して計算しております。  
※2：株式会社日本航空インターナショナルは、本年4月1日、商号を日本航空株式会社に  
変更しております。

### 所有者別株式数分布



当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、以下の株主ご優待券を配布させていただいております。羽田空港国内線旅客ターミナルビル内物販・飲食店舗、エアポートルoungeおよび羽田空港新国際線旅客ターミナルビル、成田国際空港、関西国際空港等の指定店舗にてご利用いただけます。



ご所有株式数 100株以上1,000株未満の場合

ご優待券1枚 1,000円分

ご所有株式数 1,000株以上10,000株未満の場合

ご優待券2枚 2,000円分

ご所有株式数 10,000株以上の場合

ご優待券3枚 3,000円分

株主ご優待券は当社指定店舗にてご利用になれます。  
詳しくは、以下のURLをご覧ください。

[http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock\\_information/](http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/)

# 会社概要

CORPORATE DATA

Japan Airport Terminal Co., Ltd.

(2011年6月29日現在)

## 会社概要

- 商号 日本空港ビルデング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.
- 設立 1953年7月20日
- 資本金 174億8,920万円(東証一部上場)
- 事業内容 (1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営  
①航空旅客ターミナル施設、見学送迎施設等の建設、管理  
②航空運送事業者および空港構内営業者に対する事務室、店舗、作業場等の賃貸
- (2) 物品販売業務  
①羽田空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務  
②成田国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務  
③関西国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務
- (3) その他のサービス業務  
①羽田空港利用者に対する案内業務、駐車場、旅行傷害保険代理業、ホテルあっせん等のサービスの提供  
②成田国際空港利用者に対する旅行傷害保険代理業

## 本社および営業所等

- 本社 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(第1旅客ターミナルビル)
- 東京事務所 東京都千代田区大手町二丁目6番2号日本ビル10階
- 成田営業所 千葉県成田市古込字込前164番地(成田国際空港内コスモビル)
- 大阪営業所 大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地(関西国際空港内旅客ターミナルビル本館1階)
- 中部営業所 愛知県常滑市栄町一丁目124番地

## 役員

取締役会長	門脇 邦彦
代表取締役社長執行役員	鷹城 勲
代表取締役副社長執行役員	土井 勝二
専務取締役執行役員	横田 信秋
常務取締役執行役員	越智 久男
常務取締役執行役員	阿南 優樹
常務取締役執行役員	浅野 文郎
取締役執行役員	松本 真澄
取締役執行役員	米本 靖英
取締役執行役員	河合 誠
取締役	高木 丈太郎
取締役	小谷 昌
取締役	大貫 哲也
取締役	洞 駿
取締役	櫻井 正志
常勤監査役	森田 一夫
常勤監査役	小川 洋一
監査役	赤井 文彌
監査役	樋口 公啓
監査役	大鷲 雅一
専務執行役員	田中 一禎
専務執行役員	山田 克爾
執行役員	岩松 孝昭
執行役員	丸岡 晋
執行役員	田村 幸宏
執行役員	徳武 大介
執行役員	田中 一仁
執行役員	大谷 益夫



1953年、当社は羽田空港の旅客ターミナルビルの建設・管理運営を目的として設立されました。  
現在、当社グループは、施設管理運営業のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

### CS理念

「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」のもと、すべてのお客さまにご満足いただけるよう、サービスの向上に取り組んでいます。

### 基本理念

公共性と  
企業性の調和

### 経営方針

- 旅客ターミナルビルにおける絶対安全の確立
- お客さま本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナルビル運営
- 安定的かつ効率的な旅客ターミナルビル運営
- 企業体質の強化およびグループ企業の総合力向上

(2011年7月1日現在)

## 日本空港ビルデング(株)

